

令和7年度 中・四国各県の研修会【報告】

【鳥取】県

研修会名称	鳥取県小学校体育研究会夏季研修会
期 日	令和7年8月7日(木)
会 場	午前:倉吉体育文化会館 午後:ブランナールみささ
内 容	<p>8:30～ 9:00 開会行事 9:00～11:00 実技研修 講師 愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 氏 「レジ風船バレー」(ネット型ゲーム) (昼食・移動)</p> <p>13:00～14:30 講演 講師 愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 氏 「新たな鳥取の体育の視点と令和の日本型学校教育」</p> <p>14:40～16:00 中・四国小学校体育研究大会(島根大会) 領域別分科会プレ発表 ①器械・器具を使った運動遊び 発表者 鳥取市立末恒小学校 辻井 直 教諭 指導助言 愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 氏 ②ゲーム 発表者 湯梨浜町立羽合小学校 山崎 裕貴 教諭 指導助言 愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 氏 鳥取県教育委員会事務局体育保健課指導主事 綱本 大介 氏</p> <p>16:10～16:30 閉会行事</p>
報 告	<p>午前は、倉吉体育文化会館を会場に、愛媛大学教育学部糸岡夕里准教授による実技研修が行われた。「レジ風船バレー」(ネット型ゲーム)と題し、身近にある新聞紙、風船、レジ袋を使ったネット型ゲームを行った。「ネット型ゲームの醍醐味である得点する(アタックを決める)」「チームで連動した攻撃をする」「ボールの選択やルール変更など、子どもたちが主体的に学習できる」等、学びの多い研修となった。これまで、バレーは「サーブから始める」という固定概念があった。しかし、サーブだけで得点が決まってしまうたり、サーブの失敗でゲームが成立しなかったりする難点があった。アタックを決める楽しさを味わうことに焦点化し、「アタックからゲームを始める」「ローテーションを固定して、基本的な動きを繰り返し練習して習得させる」等、「チームで楽しむ」ための手立てを学ぶことができた。</p> <p>午後は、ブランナールみささに会場を移し、講演会と中・四国小学校体育研究大会(島根大会)領域別分科会プレ発表が行われた。午前に引き続き、糸岡夕里准教授にご講演いただき、第4期教育振興基本計画、次期学習指導要領改訂、これからの体育授業に求められること等をご示唆いただいた。また、愛媛県内で取り組まれたあつまり、ともに、つながる(協働的な学び)実践例や、午前の実技研修とも結びつけながら、子どもたちに身に付けさせたい資質や能力、達成できた後の発展学習を展開する際の支援といった、指導者が持つべき視点をご指導いただいた。</p> <p>中・四国小学校体育研究大会(島根大会)領域別分科会プレ発表では、発表後、活発な意見交換が行われた。1日を通して、これからのよりよい体育の授業づくりに向けて、多くの学びのある充実した研修会となった。</p>
	  